

保健福祉事務所等では、無料・匿名のエイズ相談・検査を実施しています

- 各保健福祉事務所等には専用の相談室(個室)があり、医師・保健師等が相談や検査に応じます。
- あなたの秘密やプライバシーは完全に守られます。
- 希望により他の性感染症の検査も実施しています。
- HIV検査の結果は、当日にお知らせします。

保健福祉事務所等でのエイズ相談・検査は、プライバシーを保護するとともに、待ち時間を少なくするなどの理由から、**原則として予約制で受け付けています。** 予め、希望する保健福祉事務所等に連絡し、時間と場所を確認してください。

名称	住所	電話番号
※ 渋川保健福祉事務所	渋川市金井394	0279-22-4166
伊勢崎保健福祉事務所	伊勢崎市下植木町499	0270-25-5066
安中保健福祉事務所	安中市高別当336-8	027-381-0345
藤岡保健福祉事務所	藤岡市下戸塚2-5	0274-22-1420
※ 富岡保健福祉事務所	富岡市田島343-1	0274-62-1541
吾妻保健福祉事務所	中之条町西中之条183-1	0279-75-3303
利根沼田保健福祉事務所	沼田市薄根町4412	0278-23-2185
※ 太田保健福祉事務所	太田市西本町41-34	0276-31-8243
桐生保健福祉事務所	桐生市相生町2-351	0277-53-4131
館林保健福祉事務所	館林市大街道1-2-25	0276-72-3230
前橋市保健所	前橋市朝日町3-36-17	027-220-5779
※ 高崎市保健所	高崎市高松町5-28	027-381-6112

※夜間検査も実施しています。

エイズ
相談電話

027-223-4911
県庁保健予防課

ホーム
ページ

相談・検査は？
群馬県のホームページ内「エイズ相談検査」
で検索してください。

群馬県ではどこの病院で診てもらえるか？

●群馬県では、エイズ患者やHIV感染者を積極的に診療する病院として、次の18病院が「群馬県エイズ診療拠点・協力病院」になっています。

血液検査で感染がわかった場合、これらの病院でさらに詳しい検査や必要な治療を受けることができます。
※エイズ診療拠点病院

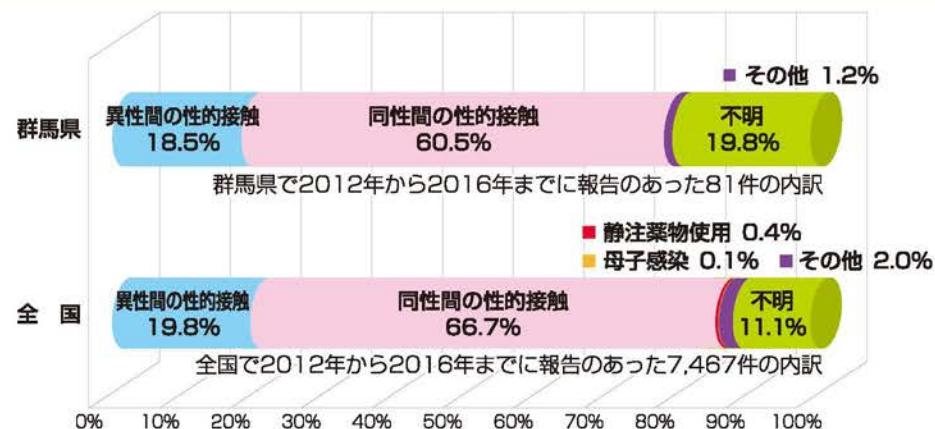
病院名	住所	電話番号
※ 群馬大学医学部附属病院	前橋市昭和町 3-39-15	027-220-7111
県立心臓血管センター	前橋市亀泉町甲 3-12	027-269-7455
地域医療機能推進機構群馬中央病院	前橋市紅雲町 1-7-13	027-221-8165
※ 前橋赤十字病院	前橋市朝日町 3-21-36	027-224-4585
群馬県済生会前橋病院	前橋市上新田町 564-1	027-252-6011
※ 国立病院機構 高崎総合医療センター	高崎市高松町 36	027-322-5901
桐生厚生総合病院	桐生市織姫町 6-3	0277-44-7171
伊勢崎市民病院	伊勢崎市連取本町 12-1	0270-25-5022
県立精神医療センター	伊勢崎市国定町 2-2374	0270-62-3311
県立がんセンター	太田市高林西町 617-1	0276-38-0771
SUBARU健康保険組合太田記念病院	太田市大島町 455-1	0276-55-2200
※ 国立病院機構 渋川医療センター	渋川市白井 383	0279-23-1010
県立小児医療センター	渋川市北橋町下箱田 779	0279-52-3551
公立藤岡総合病院 (平成29年11月1日～)	藤岡市藤岡 942-1 藤岡市中栗須 813-1	0274-22-3311
公立富岡総合病院	富岡市富岡 2073-1	0274-63-2111
原町赤十字病院	吾妻郡東吾妻町原町 698	0279-68-2711
国立病院機構 沼田病院	沼田市上原町 1551-4	0278-23-2181
館林厚生病院	館林市成島町 262-1	0276-72-3140

AIDS INFORMATION



レッドリボンは、HIV感染者・エイズ患者に対する理解と支援のシンボルです。このリボンをつけることで、エイズに対する偏見や差別をなくそうという気持ちを表します。もう一度みんなでHIV・エイズについて考えてみましょう。

HIV感染者・エイズ患者累積報告例の感染経路別内訳(群馬県・全国)



【全国の感染者・患者の数】(厚生労働省エイズ動向委員会報告)

平成28(2016)年1年間でHIV感染者が1011件と報告数は前年(1006件)に比べ増加し、エイズ患者は437件と、前年(428件)から増加しました。HIV感染者とエイズ患者をあわせた新規報告件数は1448件で、前年(1434件)より14件の増加となりました。今も「1日約4人」がHIV感染/エイズ発症をしていることとなります。

※「HIV感染者」とは、エイズウイルス(HIV)に感染している状態で、エイズをまだ発症していない人のことをいいます。「エイズ患者」とは、HIVのために免疫力が落ちてきて、エイズ発症の指標として指定されている23種類の日和見感染症のどれかを発症した状態の人を示しています。



群馬県

エイズってどんな病気？

- エイズ(AIDS)は、「後天性免疫不全症候群」といい、エイズウイルス(HIV)に感染することによって起こる感染症です。
- 人体には感染などから身を守る免疫という仕組みがありますが、エイズウイルスはこの免疫を破壊するため、健康な人はかかることのない感染症や病気にかかってしまいます。



エイズウイルスに感染すると症状は？

〈急性症状の時期〉

感染して2～3週間後、約20%の人に、発熱、のどの痛み、関節痛、発疹などが見られます。

〈無症候の時期〉

症状がない状態が数年続きます。

〈エイズ(AIDS)の時期〉

免疫力が極端に低下し、カリニ肺炎などの健康時にはかからない感染症（「日和見感染症」という）、悪性腫瘍、神経障害などが現れます。

※日和見感染症＝普段は問題を起ささない細菌などが、宿主である人間が弱ったチャンスに増殖して起こす感染症をいいます。宿主の状態をうかがいながら、おとなしくしたり活動したり日和見することからこの名があります。

感染はどうしたらわかるの？

エイズに特有の症状はありません。感染しているかどうかは血液検査でしか確認できません。

●HIV検査は2ステップでおこなわれる



●検査で調べられない時期がある

HIVに感染すると、通常、4週間後くらいからHIVに対する抗体が検出できるようになります。また、抗原検査では、2～3週間くらいからHIVの成分が検出できるようになります。よって、感染してから2～3週間以上経過すると、検査で感染がわかる可能性が高くなってきます。

確認検査の結果が「陽性」であれば、HIVに感染していると言えますが、検査で陽性になる期間には個人差があるため、感染の可能性のある機会から3か月以内の検査で「陰性」であった場合は、3か月以上たつてからの再検査をおすすめします。

検査を受けて感染がわかった場合どうしたらよいか？

●大切なことは

- ・HIV・エイズに関する十分な知識を持つこと
- ・医療機関を受診し、主治医と治療方針についてよく話し合い納得のいく治療プログラムを組んで治療を継続することが、大切です。

●医療機関での治療方法は

- ①ウイルス量や免疫力の定期的な検査
- ②抗HIV薬の内服
- ③合併症の予防及び治療

●日常生活で注意することは

- ・体力(免疫力)を維持する生活スタイルを心掛ける(希望を持つ、規則正しい生活をする、十分な栄養をとる、ストレスをためない、など)
- ・他の人に感染させず、自分も新たな感染を受けないために、予防手段をとる

●エイズウイルスが大量に存在するのは

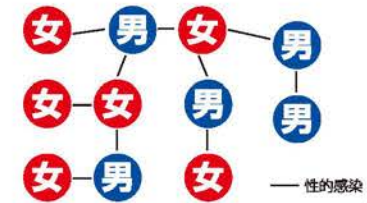
- ・精液及び膈分泌液
- ・血液

●感染のルートは次の3つです

- ①性行為感染
(同性間、異性間ともに、性交・オーラルセックス(口腔性交)・肛門、性器具の共用など)
- ②血液感染(薬物注射の回し打ちなど)
- ③母子感染(感染している母から生まれる子)

HIVが広まる仕組み

ある人とセックスしたときの感染の可能性は、相手が今までにセックスをしたすべての人とセックスをしたのと同じです。



今や感染の主流は

エイズウイルス(HIV)は感染力が弱いウイルスです。健康な皮膚に触れただけでは感染しません。ウイルスを含んでいる精液や膈分泌液、血液が粘膜や傷口に付着し、一定量のウイルスが体内に入ることによって感染します。

●性行為での感染を防ぐために大切なことは

- ※No Sex (性行為をしない)
- ※Steady Sex (確かなパートナーとだけ)
- ※Safer Sex (安全な方法で)
いつでも感染防止を意識した性行為を心がけましょう。

- コンドームはエイズや他の性感染症の予防に有効です。性行為の最初から最後まで破れないように、はずれないように正しく使うことが大切です。
- 性感染症にかかっているとHIV感染の危険も高くなります。早めに治療しましょう。

